

ファイナルレポート

国際電子部品・製造機器専門見本市
 2023年4月13日～15日
 中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)

2023年4月17日

productronica China 2023 は、テクノロジーの進化を加速し、
 インテリジェント製造の推進力を強化して成功裏に終了

Summary

- 822社が出展、70,833人が来場
- 開催規模は73,000㎡に拡張
- エレクトロニクスのインテリジェント製造における革新的ソリューションと汎用的アプリケーションが集結



Facts & Data

会 期	2023年4月13日(木)～15日(土) 9時～17時(最終日のみ16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	73,000㎡ (2021年:65,000㎡)
出 展 企 業	822社 (2021年:735社)
来 場 者 総 数	70,833人 (2021年:76,393人)
主な出展品と 出展技術	<productronicaChina> SMT、はんだ付け技術、検査・測定技術・品質保証、製造サブシステム、製造補給・ マテリアルフロー技術、プリント基板・回路基材装置製造、ケーブル加工技術、コイル 製品、受託製造サービス(EMS)、オーガニック/プリント・エレクトロニクス、部品 製造、各種オペレーティング機器、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	アポロ精工(株)、伊藤忠商事(株)、加賀電子(株)、黒田精工(株)、(株)サンエイテック、山陽 精工(株)、山洋電気(株)、(株)シマデン、JUKI(株)、信越化学工業(株)、(株)シンキー、新明和 工業(株)、タクミ商事(株)、(株)東京ウエルズ、(株)ナックコーポレーション、鍋屋バイテッ ク(株)、日本オートマチックマシン(株)、日本パルスモーター(株)、日置電機(株)、(株)FUJI、 ファナック(株)、武蔵エンジニアリング(株)、ヤマト科学(株) ほか(50音順)
専 用 U R L	www.productronica-china.com (英語)

productronica China 2023 は、4月13日から15日まで、中国・上海の SNIEC 会場で開催され、大盛況のうちに幕を閉じた。73,000 m²の展示スペースに822社が出展し、47の国と地域からの70,833人の来場者に電子機器製造のための革新的な製品とソリューションを紹介した。この3日間、国際的なビジネス交流の活発化、展示会市場の回復、そして productronica China の賑わいを目の当たりにした。この光景は、エレクトロニクスのインテリジェント製造業界に活気ある春の到来を告げるものと言える。出展者と来場者は再び直接交流することができ、ビジネスチャンスや協業について話し合うことができ、大きな成果を生み出した。



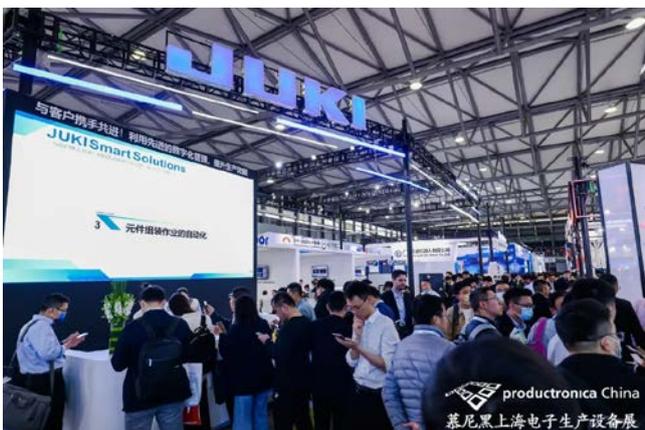
主催者メッセ・ミュンヘンの CEO ラインハルト・ファイファーは、productronica China がパンデミック後の業界全体に大きく貢献したことを評価し、「productronica China は、アジアにおけるスマートエレクトロニクス製造業界のリーディングイベントとして、メーカーとバイヤーのための効率的なビジネスプラットフォームを構築するだけでなく、業界のトレンドや最先端技術を紹介するプラットフォームを提供した。我々はスマートな未来と世界経済の回復を確信しており、その進展に我々のこの見本市は重要な役割を担っている」と述べた。

インテリジェント製造におけるデジタル・トランスフォーメーションに焦点を当て、中国におけるデジタル経済の更なる成長を促進

中国のインテリジェント製造市場は「成長加速期」を迎えています。デジタル・トランスフォーメーションは業界の新しいテーマであり、生産と管理の両側面で品質と効率を包括的に高めることを目的としている。メッセ・ミュンヘン上海の COO スティーブン・ルーは、「デジタルエコノミーは私たちの未来の姿である。デジタル経済の発展の機会を捉え、電子機器製造業における、人工知能、先端製造、5Gなどの主要なデジタル技術の統合を加速させることが、現在の我々の大きな目標だ。productronica China が、製品や革新的な技術を紹介するプラットフォームとして、デジタル経済の成長を更に可能にしたことを大変うれしく思う」と述べた。

コネクテッド&インテリジェント SMT アプリケーションで、中国のスマート工場の変革を加速

消費財の新しいトレンドは、多様化、少量生産、高速反復、そして技術の大幅な改良を必要としている。このようなトレンドは、インテリジェント製造技術の発展につれて、多くの産業や市場プロセスに拡大している。将来の発展という観点から、スマートファクトリーは将来のインテリジェント製造業において決定的な役割を果たす。productronica China 2023 には、株式会社 FUJI、JUKI 株式会社、Europlacer 社、MYCRONIC 社、KURTZ 社など、SMT 業界の主要企業が出展したほか、スマートファクトリーエリアでは、生産デモラインが設置され、今年の干支であるウサギのマスコットを製造し、来場者は生産ラインの全工程のライブデモを体験した。



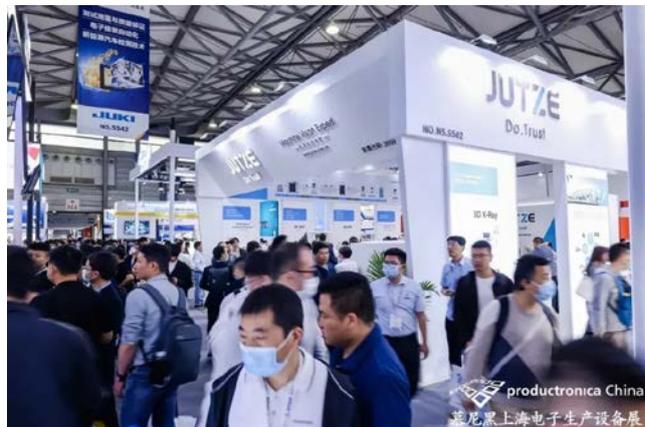
Europlacer (Shanghai) Co., Ltd. の Kirby Zhang 氏は、「productronica China は、材料や機器からアプリケーションやソリューションまで、業界の上流と下流にまたがる業界のための専門的なビジネスプラットフォームである。顧客とサプライヤーの距離を縮めることができ、同時に業界の発展を促進することができた」と語った。

また東京重機国際貿易(上海)有限公司(JUKI)の姜清輝氏は、「productronica China 2023 には、本当に多くの質の高い来場者が集まった。業界のプロフェッショナルが一堂に会し、技術や今後の展開について議論することができた」と話した。

ワイヤーハーネス業界は、新エネルギー自動車産業に目を向け、その新分野に大きなビジネスチャンスを見出す

世界中の多くの国が 2050 年または 2060 年までに「カーボンニュートラル」を達成することを約束している。自動車の排出ガス量は世界の温室効果ガスの重大な排出源(約 10%)であり、新エネルギー自動車への転換は排出量削減の重要な対策となっている。

productronica China には日本オートマチックマシン株式会社、TE Connectivity 社、新明和工業株式会社、Schunk Sonosystems 社、Hiprecise 社といったワイヤーハーネス業界の多くの主要企業が出展し、新しいワイヤーハーネス自動加工装置とその技術を紹介した。各社の革新的ソリューションと強力な技術サポートは、ワイヤーハーネスユーザーがデジタル化されたインテリジェントでフレキシブルな加工を実現することに大いに助けとなるであろう。



Tyco Electronics (Shanghai) Co., Ltd. の Simon Li 氏は、「例年 productronica China には業界のリーダーや革新的な技術を持つ出展者が数多く見受けられる。今回も最新技術や最先端技術を搭載した製品が紹介されており、業界の成長を大きく後押ししている」と話した。

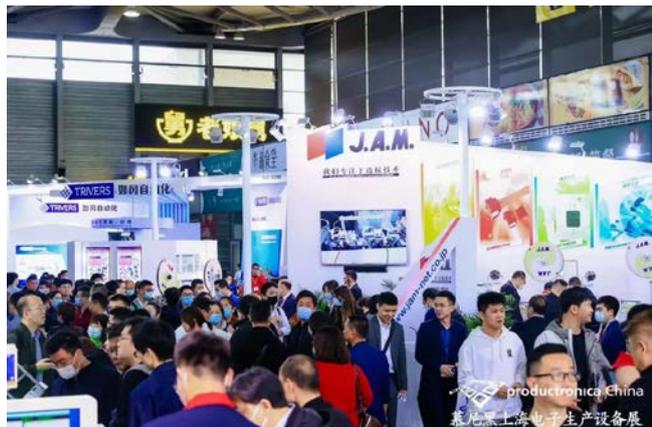
自動化技術の知能化が進み、"ロボット+"が知的生産の時代を切り開く

現在、ロボット産業は活況を呈しており、近年の生産方式と私たちのライフスタイルを大きく変え、経済と社会の発展に大きく寄与している。製造現場におけるロボット導入率は、2025 年までに 2020 年比で倍増すると予測されている。productronica China 2023 では、産業オートメーションの大手企業が一堂に会し、電子機器製造におけるスマート工場向けのソリューションを提供した。

ファナック株式会社や ABB 社といった従来の産業用ロボット・オートメーション大手のほか、AUBO 社、JAKA 社、ROKEA 社、FAIR 社、ELITE、Pt Robot 社、Moying 社などのコラボレーションロボットに加え、Passion 社、Welai Yate 社といったインテリジェントウェアハウスプロバイダーが出展した。さらに、HIWIN 社、Beckhoff 社、ADVANTECH 社、MOONS'社、WAGO 社、PEPPERL+FUCHS 社、Atlas Copco 社、Banner 社、CONTROLWAY 社、AirTAC 社などの大手企業も電子製造業におけるハイエンドの革新技術を紹介した。

接着技術と化学素材の産業革命は、多様な用途と新たな未開拓市場をもたらす

家電業界における 5G や AR/VR などの新興技術の急速な普及は、材料や製造工程に革命をもたらし、接着技術および接着装置サプライヤーに更なるビジネスチャンスをもたらしている。従来からの結合剤として、接着剤は今日の製造業においてより多様で多機能になっている。productronica China 2023 では、Nordson EFD 社、Scheugenpflug、ViscoTec、武蔵エンジニアリング株式会社、HOLS 社、Mingseal 社、GK-PRETECH 社、KONIG 社、株式会社サンエイテック、Henkel 社、Dow 社、信越化学工業株式会社など、この分野の主要企業が 3C、自動車、医療電子機器などの応用分野で電子産業向けに製品や技術を紹介した。



マイクロアセンブリ科学技術エリア - 5G と AIoT でパワーアップ

ディープラーニングや「AI+ビッグデータ」は、産業用テストに広く活用されている。

productronica China 2023 の試験・測定・品質保証エリアには、伊藤忠商事株式会社、ViTrox 社、Comet Yxlon 社、JUTZE 社、UNICOMP 社といった多くの企業が出展し、生産効率や品質の向上、フレキシブルな生産の実現に欠かせない SPI や AOI などの生産ライン検査装置や電子部品組立技術などを紹介した。

今回新たに登場したマイクロアセンブリ科学技術エリアでは、Accuracy Intelligence 社、Accuracy Intelligence 社、Ultra Precise Intelligent 社、TORCH SMT 社などのマーケットリーダーが、MicroLED/MiniLED ディスプレイチップ、携帯電話マイクロコンポーネント、MEMS デバイス、RF デバイス、マイクロ波デバイス、ハイブリッド回路のあらゆる機器とソリューションを紹介した。

エレクトロニクス・インテリジェント製造の未来を位置づけ

見本市期間中、複数の業界フォーラムが開催され、「フレキシブル・プリントドエレクトロニクス業界サミットフォーラム」では、大学の教授や有名企業の専門家が集まり、プリントドエレクトロニクスやフレキシブル電子印刷の技術と機器などのフロンティアトピックに関する今後の発展について、分析や意見交換が行われた。「2023 年新エネルギー自動車ワイヤーハーネス加工・接続技術サミットフォーラム」では、Tyco 社、Leoni 社、Hiprecise 社、BOZWANG 社からの専門家を招き、ワイヤーハーネスのインテリジェント加工や新エネルギー自動車用高電圧ワイヤーハーネス製造の自動化など、現在注目されている議題が取り上げられた。「SiP のパッケージング及びマイクロアセンブリー・イノベーションサミットフォーラム」では、Manz 社、OIP 社、CASMEIT 社、Sky Semiconductor 社、太陽ホールディングス株式会社から業界の専門家を招き、先進のパッケージング技術やプロセスについての意見交換が行われた。また、「新エネルギー自動車技術およびリチウム電池製造技術フォーラム」では、ABB 社と KUKA 社の専門家を、そして、「スマートカーコックピットおよびオートエレクトロニクス製造サミットフォーラム」では同済大学と SAIC Volkswagen 社の専門家を招待し、新エネルギー自動車分野の革新技術やソリューションについて議論が交わされた。3 日間にわたるフォーラムプログラムは多くの聴講者を集めた。

次回の productronica China は 2024 年 2024 年 3 月 20 日から 22 日まで SNIEC で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.productronica-china.com（英語）

資料請求、各種お問合せ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）